

令和2年度 事業系一般廃棄物減量化計画書のまとめ

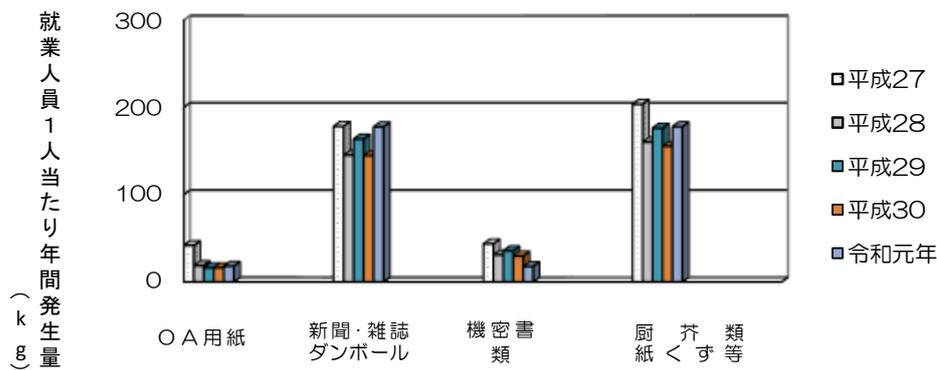
1. はじめに

このまとめは、市内の大規模事業者の皆さまより提出していただいた事業系一般廃棄物減量化計画書に基づいて、令和元年度実績での事業系一般廃棄物の発生状況と減量化・資源化の具体的手法についてとりまとめたもので、事業者の皆さまに今後の廃棄物管理の参考としていただくことを目的として作成しました。

2. 対象及び提出状況

- ◇ 対象事業者数 413
- ◇ 提出事業者数 334
- ◇ 提出率 80.9%

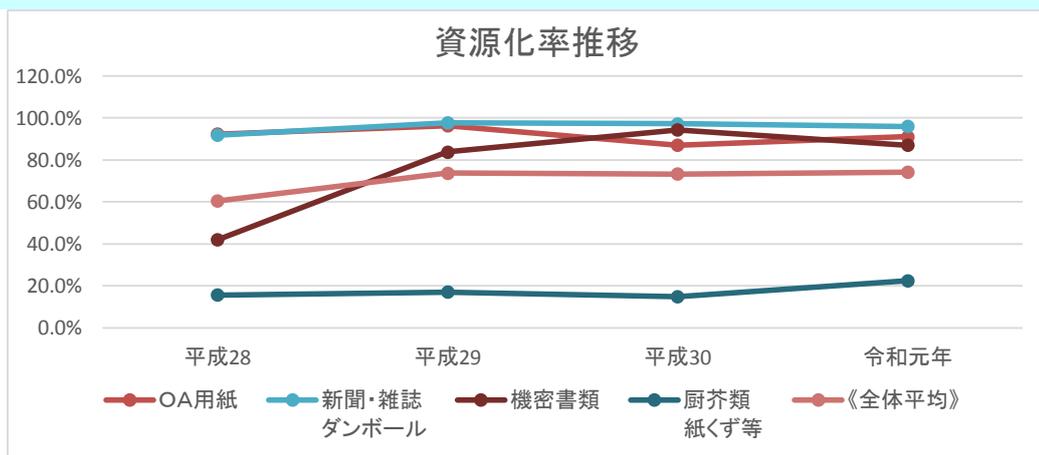
3. 就業人員1人当たり事業系一般廃棄物の年間発生量の推移



◇ 就業人員1人当たり年間発生量 (kg)

年 度	OA用紙	新聞・雑誌 ダンボール	機密書類	厨 芥 類 紙 く ず 等	《 合 計 》
平成27	41.5	178.3	43.5	203.6	466.9
平成28	18.5	145.3	30.9	160.2	354.9
平成29	16.1	163.6	35.5	176.1	391.3
平成30	16.0	144.7	29.5	155.4	345.6
令和元年	17.8	177.7	17.6	177.8	390.9

4. 事業系一般廃棄物の資源化率の推移



◇ 資源化率

年 度	OA用紙	新聞・雑誌 ダンボール	機密書類	厨 芥 類 紙 く ず 等	《 全 体 平 均 》
平成27	95.0%	94.6%	96.5%	15.7%	75.5%
平成28	92.4%	91.8%	42.0%	15.7%	60.5%
平成29	96.3%	97.7%	83.8%	17.1%	73.7%
平成30	87.0%	97.2%	94.3%	14.9%	73.4%
令和元年	91.1%	96.0%	87.1%	22.5%	74.2%

5. 減量化・資源化の具体的手法

書類系	<ul style="list-style-type: none"> ◇社員各個人別・課別のコピー用紙使用枚数を把握し不要な印刷物を控える ◇用紙の両面使用・裏紙使用・縮小コピー、メモ用紙として再利用 ◇スキャナ・社内LAN・プロジェクター・テレビ会議を活用し、用紙の使用量を削減 ◇シュレッダー処理後の書類をRPF化する業者で処理、資源化
飲食系	<ul style="list-style-type: none"> ◇食用油の全量回収、燃料として再資源化 ◇生ごみ処理機を使用し自社で堆肥化 ◇廃棄ロスの予算化を行う・売り切り基準を決めるなどによる廃棄食品の発生抑制 ◇堆肥化や飼料化を行う業者で処理
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ごみの計量を徹底し、部署別排出量や再資源化量を社内で公開することで意識向上を図る ◇ごみ分別状況パトロールの実施、未分別品などの報告 ◇グリーン購入、リサイクル製品の購入および使用 ◇ISOなどの環境マネジメントシステムに基づく廃棄物管理 ◇レジ袋有料化・マイバッグ運動の実施 ◇EA21（エコアクション21）の推進

6. 優良事業所の取り組み例

名称	従業員数	廃棄物量	資源化率	取組内容
赤塚植物園	112	0.28t/人	100%	エコキャップ運動に参加しています。社内で事務用品等所有者名記載や消耗事務用品有効利用キャンペーンを実施しています。毎年市内の小学校に球根プレゼントを行い、お花一杯運動を行っています。
住友電装株式会社 津製作所	1065	0.22t/人	98%	環境分科会・エコクラブを設け、各部署で削減目標を掲げ従業員全員で取り組んでいます。また、用紙の両面使用・メモ用紙として再利用することや、TV会議等を活用することで、配布資料の削減にも取り組んでいます。
イオンビッグ株式会社 ザ・ビッグ芸濃店	141	2.07t/人	87%	食品廃棄物（生ごみ）の減量を大幅に削減するため、①グループ単位で発注ミーティングを実施し販売計画に基づき日々の販売目標を決め、廃棄ゼロを最大目標に売り切る②時間ごとの客数に応じ、見切りを段階的に早めて売り切り、廃棄売変をゼロにする取組を行います。
マックスバリュ津北店	163	1.82t/人	100%	古紙リサイクルステーションを設け、利用者にWAONポイントの付与を行っています。発生したごみの量を部署別に計量し従業員に公開することで意識向上を促しています。また、ISO認証に基づく廃棄物管理を行っています。

今後とも事業系一般廃棄物の減量化・資源化にご協力をお願いします。

事務担当	津市環境部 環境政策課 資源循環推進担当
電話番号	059-229-3258
E-mail	229-3139@city.tsu.lg.jp